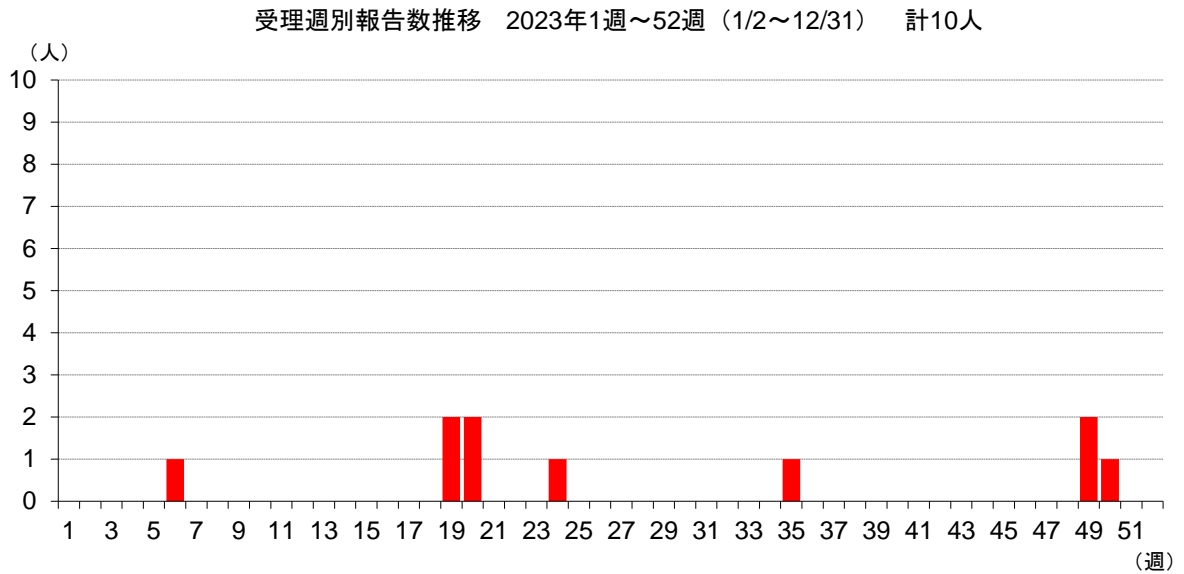


## 都内における麻しんの発生状況（2023年第1週から52週）

東京都健康安全研究センター

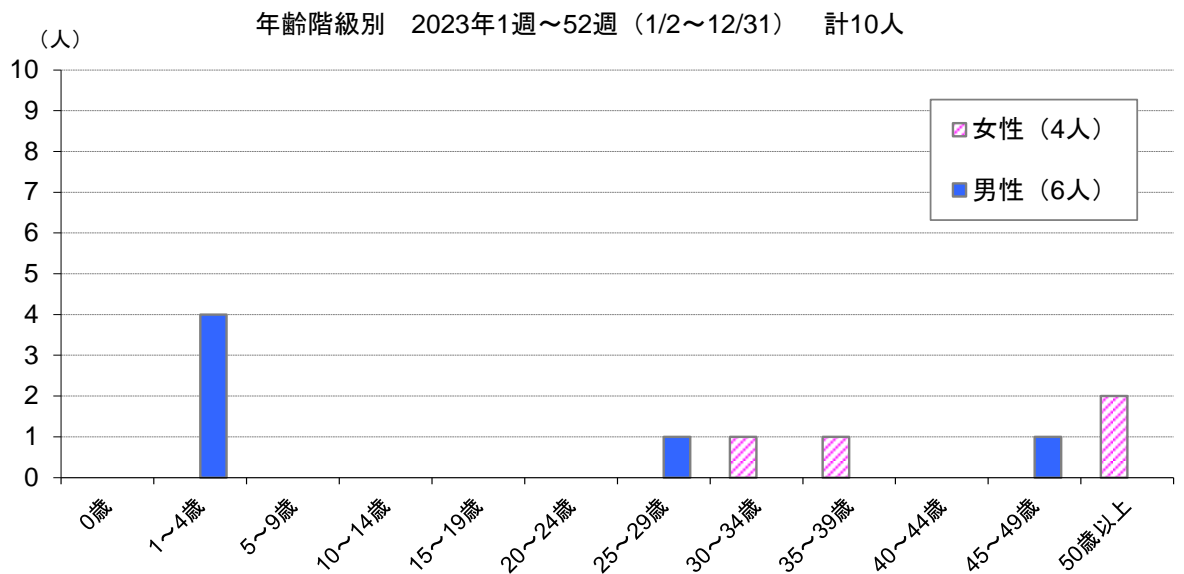
### 1. 患者報告数の推移

2023年の年間累計報告数は10人であった。



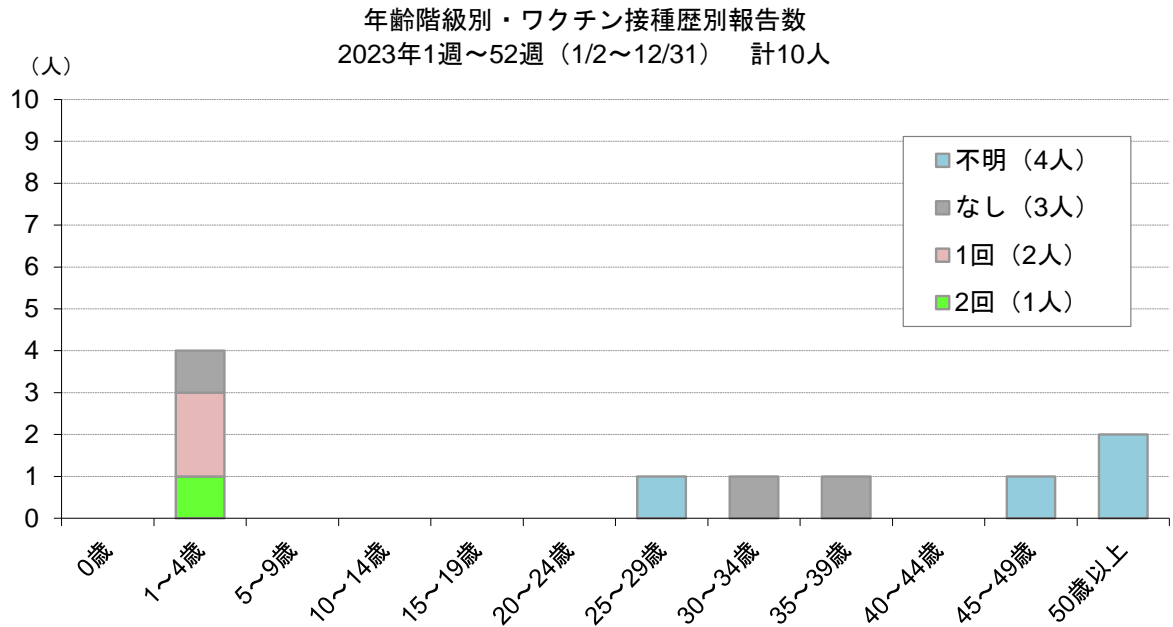
### 2. 年齢階級別・性別報告数

年齢階級別では1～4歳が4人、25～29歳が1人、30～34歳が1人、35～39歳が1人、45～49歳が1人、50歳以上が2人であった。性別では男性6人、女性4人であった。



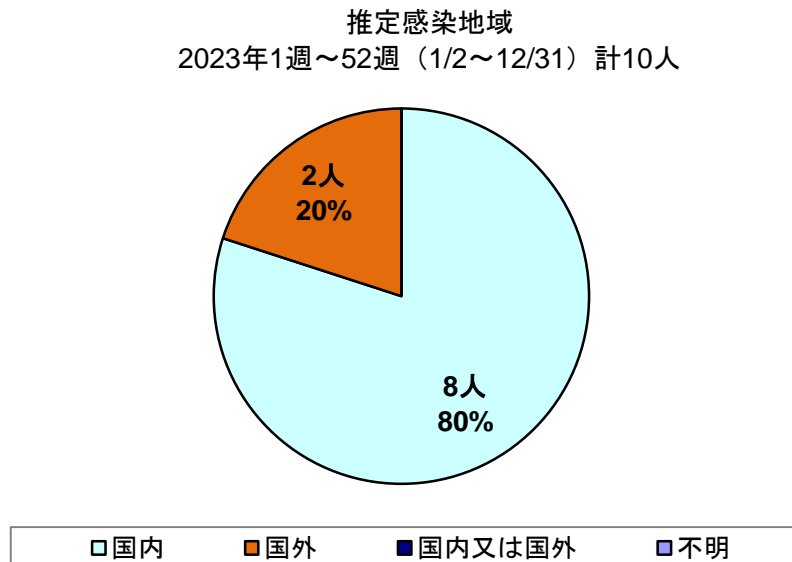
### 3. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

ワクチン接種歴別で見ると、2回接種が1人、1回接種が2人、接種なしが3人、不明が4人であり、接種なしと不明を合わせた割合は70%であった。ただし、接種歴には暴露後の緊急対応としての接種歴も含まれる。



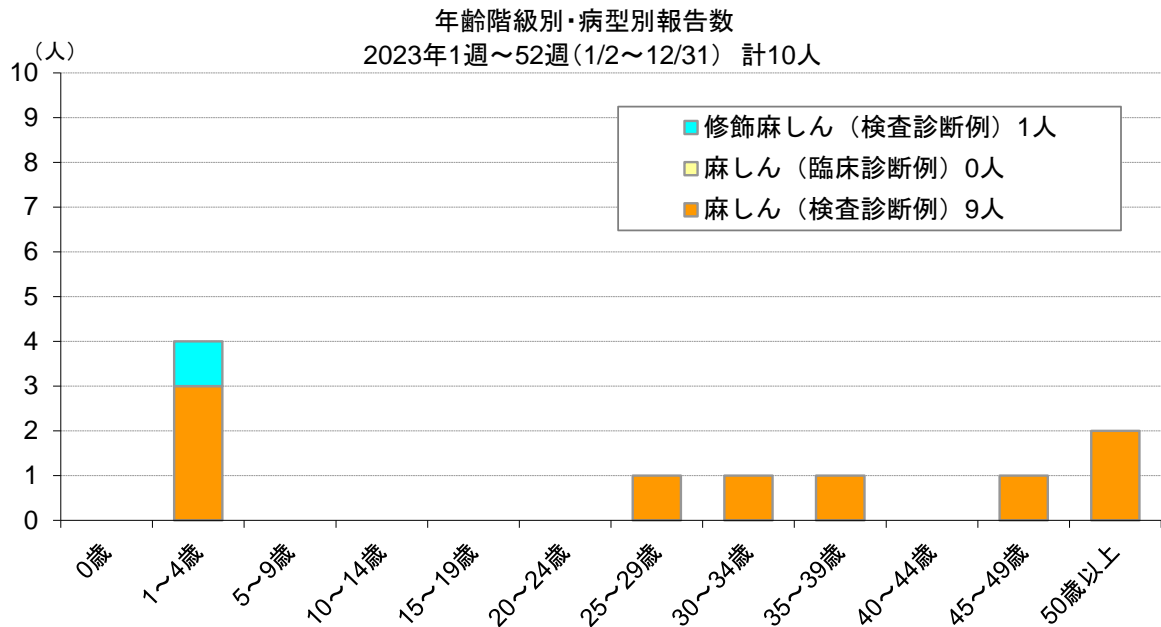
### 4. 推定感染地域

推定感染地域は「国内」が8人、「国外」が2人であった。



## 5. 年齢階級別・病型別報告数

病型別で見ると、麻しん（検査診断例）が9人、修飾麻しん（検査診断例）が1人であった。麻しん（臨床診断例）の報告はなかった。



## 6. 事例一覧

No	診断週	性別	年齢群	遺伝子型	推定感染地域	予防接種歴
1	6週	女	50歳以上	不明	国内	不明
2	19週	男	45～49歳	D8	国内	不明
3	19週	女	30～34歳	D8	国内	なし
4	20週	男	1～4歳	D8	国内	1回
5	20週	男	1～4歳	D8	国内	2回
6	24週	男	25～29歳	D8	国外(インドネシア)	不明
7	35週	女	35～39歳	D8	国外(シンガポール)	なし
8	49週	女	50歳以上	D8	国内	不明
9	49週	男	1～4歳	D8	国内	なし
10	50週	男	1～4歳	D8	国内	1回

## 7. 集団発生報告数

2023年の集団発生報告はなかった。

<参考>

麻しん患者報告数の推移（2019年～2023年）

2021年、2022年の報告はなかった。過去5年間でみると、2023年は2番目に多い報告数となった。

